

吉田高等学校

よのなか科特別授業 2024 を終えて

吉田高校では令和6年5月から令和7年3月までの全18回、
教育改革実践家の藤原和博先生をお招きし、特別授業を行っていただきました。

令和7年度は特別授業で学んだことを生かし、本校教員独自のよのなか科や、
総合的な探究の時間のアップグレードを実施する予定です。

○昨年度の特別授業の内容まとめ

	特別授業のテーマ	キーワード
第1回	オリエンテーション コミュニケーションの練習 +モードーモード 自分と相手の共通点探し	自分プレゼンのコツ (4つのパターン) 情報処理力と情報編集力 ナナメの関係
第2回	きみたちはどういう時代に生きるのか AI ロボット時代になくなる仕事 ～マインドマップでイメージを広げる	発想を広げる技術 「ブレンストーミング」「マインド・マップ」 ChatGPTの活用
第3回	ジグソーパズル型学力とレゴ型学力 この比較でいろんな物事を語る ～マインドマップでイメージを広げる	白と黒のゲーム ガリガリ君
第4回	稼げる大人になるにはどうしたらいいか?～時給の比較図	レアカード 希少性 付加価値 「200字作文」の書き方
第5回	世の中にはどんな仕事があるのか?～13歳のハローワークマップより ～2つの仕事を組み合わせて、新しい仕事を作ってみよう!	「13歳のハローワークマップ」 仕事の掛け算 意外な組み合わせ
第6回	人生のエネルギーカーブを描いてみよう 自分の人生をプレゼンする	可視化 谷の部分は魅力に変わる 八ヶ岳連峰型の人生
第7回	ハンバーガー店の店長になってみよう ゲスト: Mac の出店担当のプロ	シミュレーション 納得解 論理的なプレゼンテーション (数字を使う) プロの視点 「結論が先→何故ならば…」
第8回	商売繁盛の方程式を作ろう 複雑な問題を付箋紙を利用して解決する	「ブレンストーミング」 付箋紙の使い方 (グルーピング、ネーミング)
第9回	制服の是非についてのディベート	「よのなか科ディベート」 「200字意見文」 過去の回で学んだスキルの活用 「複眼思考」 極端に偏った意見も出して良い 賛成と反対、両方の立場に立つ 相克問題 自分とは違う考え方、意見を聞いて 自分の意見を深める (深化させる) 自分なりの価値観、判断基準 少数派の意見に真理が 隠れていることがある
第10回	富士登山鉄道のメリットとデメリットを考えるディベート	
第11回	少子化問題を考える 付箋紙を使って分類する	
第12回	自分自身の進路について 付箋紙を使って分析する	
第13回	自分のカラダをどこまでいじっていいか? プチ整形から性転換手術まで	
第14回	赤ちゃんポスト問題から、命について考える	
第15回	自殺抑止ロールプレイと自殺の是非のディベート	
第16回	安楽死問題を考える	
第17回	宗教とは何か?～ロールプレイとシミュレーション	
第18回	よのなか科の授業を作ってみよう～ワークシートを自作する	

○参加生徒の声 ～よのなか科を受講して勉強になったこと～（抜粋）

- ・自分1人では考えないようなテーマがたくさんあったけど、どれも現代を生きる上できちんと考えなければいけないことだし、知らなければいけないことだったりして、あらためて自分がどれだけ社会のことについて知らないか分かった。これをきっかけに、新聞に目を通すようになりました。
- ・ディベートをするときに論理的に反論できるような複眼思考が身についたことがよかった。
- ・自分の思考力や表現力、判断力というものは生まれつきみたいなもの（最初から力が決まっている）だと思っていたが、これらの力は伸ばすことができるんだな、と感じた。
- ・ディベートであえて自分の意見とは異なる立場からコメントすることで、相手の意見を理解しようとすることができたと思う。それだけではなく、人が言っていることを自分自身が否定するということが少なくなった。
- ・色々な視点から物事を考えることができるようになった。今までは必ず正解がある、正解は一つといった問題に対して取り組むことが多かった。しかし、よのなか科を受講して必ずそうではないことに気が付いた。そのおかげで、今までの自分が無意識に差別的な、偏見的な意見を持っていたことを自覚した。大人、子供、それぞれの立場でも変わるし、それを共有しあい、考えを深くする機会になった。

○大人の声（最終回・抜粋）

- ・現代の高校生の感覚を知ることができ、とても楽しく、刺激をもらえました。
- ・先生と生徒の皆さんの話すスピードが、早くて驚きました。素晴らしい取り組みと思います。
- ・徳満先生をはじめ、吉田高校の先生方、生徒の皆さん1年間ありがとうございました。自分も生徒になった気分で毎回楽しく参加させていただきました。斜めの関係としての大人として役割の大切さを感じました。よのなか科の授業が更に広がっていくことをお祈りいたします。
- ・生徒の変容に圧倒されました。こんな授業が広がるといいですね。
- ・1年間ありがとうございました。毎回、授業の準備をしてくださり、おかげさまで他では経験することの出来ない時間となりました。よのなか科の授業の内容が仕事のヒントにもなりました。このような機会をいただき、ありがとうございました。
- ・教員の負担が増えるなか、映像授業、スマホ、cラーニングなどあらゆるツールを使って工夫する事がとても素晴らしいと思います。

探究の時間やホームルームの時間では「よのなか科」のノウハウが手軽に生かせそうです！

→生徒のアウトプットの時間をたくさん確保（情報処理力→情報編集力）



これまでの探究活動（イメージ）

生徒は一生懸命自転車漕いでいるが…
ハンドルを握っているのは先生



これからの探究活動（イメージ）

先生は伴走者　いい意味で生徒に任せる
*土台になる各教科の学習が必要不可欠

○授業の様子がNHK「おはよう日本」「ニュースかいドキ」で紹介されました！